

経営比較分析表（令和2年度決算）

山形県米沢市 市立病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	300床以上～400床未満	自治体職員
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	37	対象	ド透I 訓	救臨輸
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
78,965	27,389	非該当	非該当	7：1

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未産児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輸…病院群輪番制病院

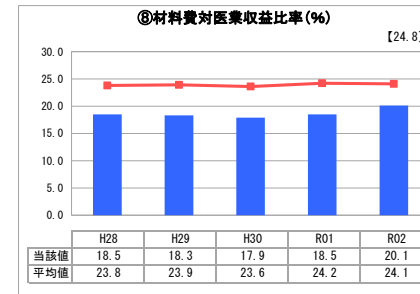
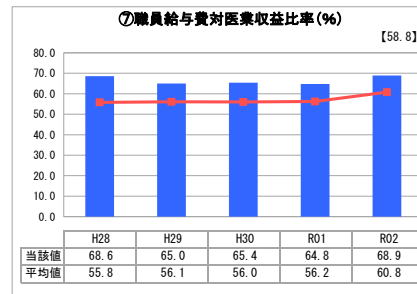
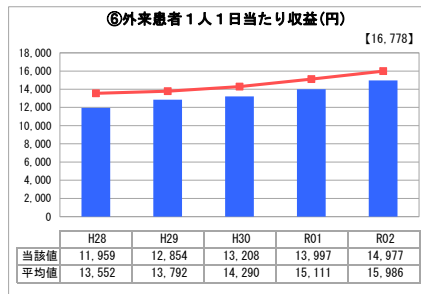
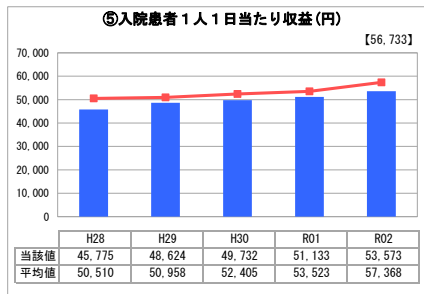
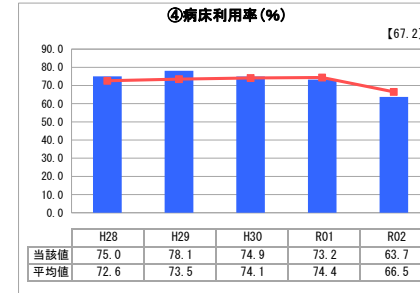
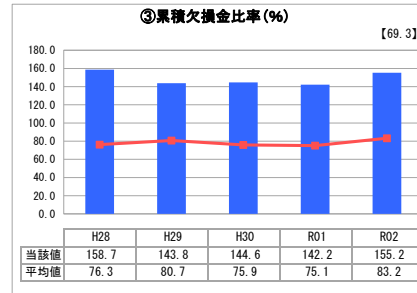
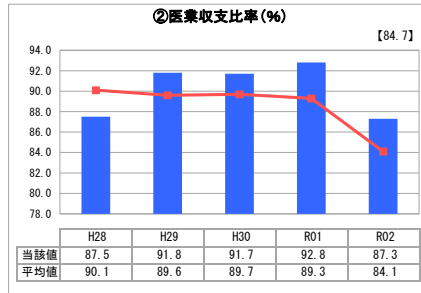
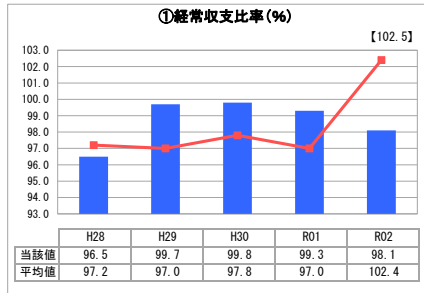
許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
322	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	322
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
322	-	322

グラフ凡例

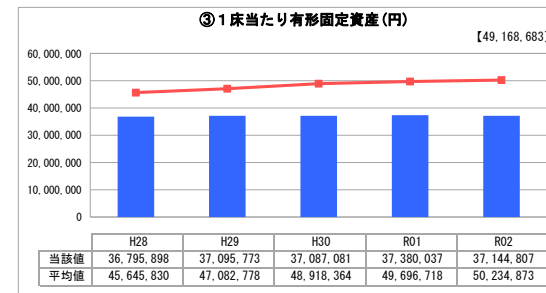
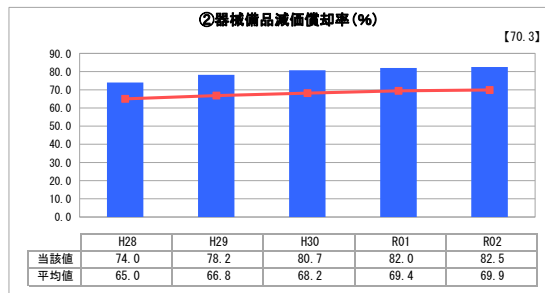
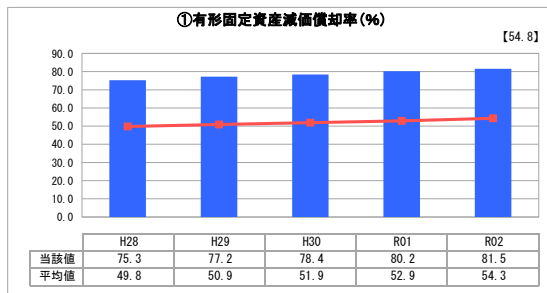
- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）

【】 令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
- 年度	- 年度	- 年度

I 地域において担っている役割

当院は、置賜二次保健医療圏の基幹病院として、主に急性期医療を提供している。地域では、二次救急医療機関として、市の病院輪番制に参加している。

また、民間医療機関による提供が困難な高度医療・救急・小児・周産期等の不採算部門の医療を提供するとともに、臨床研修病院としての教育機関の役割を担っている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

新型コロナウイルス感染症の影響で、経常収支比率①・医療収支比率②が前年度を下回り、累積欠損金比率③が前年度を上回りさらなる経営改善を必要とする。

入院・外来患者1人1日当たり収益⑤・⑥が前年度を上回ったものの、病床利用率④は新型コロナウイルス感染症の影響で前年度を下回った。

職員給与と費対医療収益比率⑦は前年度を上回り、依然高い状況が続いている。材料費対医療収益比率⑧は前年度の数値を上回った。

2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率①・器械備品減価償却率②ともに年々増加傾向にある。また、類似病院平均値よりも高く、病院の老朽化が進んでいる。

1床あたり有形固定資産③は前年度よりも増加したが、類似病院平均値より低い水準にある。

当院では令和5年度までに新病院を開設する予定であり、それまでは固定資産への投資を必要最低限としていく方針である。

全体総括

収支の面では新型コロナウイルス感染症の拡大による、入院及び外来患者の減少が収入の大幅な減少に繋がった。材料費、経費等については増加していることから赤字となり、引き続き債務超過の状態が続いている。

当院では、令和5年度までに新病院開設を予定した事業を進めている。今後、円滑に事業を進めるため、現在の債務超過の状態を解消するだけでなく、安定的に黒字にしていく必要がある。

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。